

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岩手県立大学宮古短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
宮古短期大学部	経営情報学科	夜・通信	—	—	26	26	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページ (URL: https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/syllabus.html)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手県立大学宮古短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/information/staff.html)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	地方公共団体職員	H29. 4. 1～ R3. 3. 31	法人運営・地域貢献
常勤	大学共同利用機関法人役員	H31. 4. 1～ R5. 3. 31	大学運営・教育研究
常勤	地方公共団体職員	H30. 4. 1～ R4. 3. 31	法人運営・地域貢献
非常勤	弁護士	H28. 4. 1～ R2. 3. 31	コンプライアンス
非常勤	株式会社役員	H31. 4. 1～ R5. 3. 31	大学運営（県民意識・社会情勢・男女共同参画）
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手県立大学宮古短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバス作成要領を定めており、シラバス作成要領に基づき、開講される授業科目ごとに、授業担当教員がシラバスを作成している。シラバス作成要領とは、シラバスの構成、作成手順、作業内容及びスケジュール、シラバスの各項目の記載方法等を定めたものである。 授業担当教員がシラバスを作成した後は、学部教務・学生委員会がシラバスの内容確認を行っている。 シラバスは授業開講の前年度の1月から作成し、3月中旬頃に公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/syllabus.html)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業科目ごとのシラバスに下記事項を記載している。シラバスに、学修目標、成績評価の方法を明記しており、これに基づき各授業科目の単位授与を行っている。 ①授業科目名 ②担当教員 ③所属 ④教育課程 ⑤開講年次 ⑥授業形態 ⑦単位数 ⑧必修・選択 ⑨資格対応 ⑩正課学生以外の受講 ⑪授業のねらい・概要 ⑫キーワード ⑬学修目標 ⑭授業の位置付け ⑮授業の計画 ⑯教科書 ⑰参考書等 ⑱授業の形式 ⑲成績評価の方法 ⑳授業前・授業後の学修 ㉑履修にあたっての留意点 ㉒備考</p> <p>試験・単位認定・成績評価に関するホームページアドレス (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/test.html)</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA制度を導入しており、「岩手県立大学グレードポイントアベレージ制度運用規程」において、GPの付与、GPAの種類及び計算式、GPA対象科目、GPAの通知について定めている。</p> <p>GPAの算出方法は下記のとおりである。</p> <p>① 当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA (学期GPA) (当該学期に評価を受けたGPA対象科目で得たGP × 当該科目の単位数)の合計 ————— 当該学期に評価を受けたGPA対象科目の単位数の合計</p> <p>② 在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA (通算GPA) (在学中に評価を受けた全GPA対象科目で得たGP × 当該科目の単位数)の合計 ————— 在学中に評価を受けた全GPA対象科目の単位数の合計</p> <p>上記算出方法により、各学期の成績評価に基づきGPAを算出しており、学生は、各学期の成績通知日以降に、学内情報システムにおいて自分自身の学期GPAと通算GPAを確認することが可能である。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/test.html)
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○卒業認定・学位授与の方針</p> <p>富古短期大学部では、本学の建学の理念、教育の特色、教育研究上の目的を踏まえ、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実社会に有用な知識と確かな専門技術を修得した人材 2 職業人としての自信と豊かな教養、情報の取捨選択能力と活用能力を身につけた人材 3 広い視野に立つ国際性や地域のリーダーとしての資質を培い、社会に貢献する有能な人材 <p>の育成を図り、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し且つ単位を修得した学生を、次に掲げる「学生が卒業までに身につけるべき能力」を備えたものとして、学位「短期大学士 (経営情報学)」を授与します。</p> <p>学生が卒業までに身につけるべき能力</p> <p><専門科目></p> <p>【経営・会計分野】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職業人として企業の社会的役割を広い視野で理解して企業活動に参加できる。 2 企業の管理や会計の知識・技能を活用して企業活動に参加できる。 <p>【情報科学分野】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コンピュータを活用し、企業活動における情報化に率先して参加できる。 2 コンピュータの仕組みをより専門的に学び、プログラムやシステムの開発に参加できる。 <p><教養科目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グローバルな視野と地域に貢献する意欲をもって行動できる。 2 コミュニケーションツールとして英語を活用できる。 3 自分で考え、他者と協力しながら社会の中で主体的に行動できる。 	

<ゼミ科目>

より高度な知識や技術を培い、専門性を深めることで、社会生活や企業活動に活用できる。

<キャリア科目>

培った知識や技能を活用するとともに、明確な目的意識をもって自身の進路を選択できる。

○卒業の認定に関する方針の適切な実施状況

「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」に沿って位置づけた授業科目ごとに、授業計画を定め、それぞれの学修目標の到達度を評価している。また、「岩手県立大学宮古短期大学部学則」に定める卒業に必要な年数以上在学し、かつ、卒業に必要な単位を修得した学生に卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学ホームページ（URL：<https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/dc-policy-top.html>）

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岩手県立大学宮古短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/information/zaimu.html)
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	—
事業報告書	大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/information/zaimu.html)
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:平成31年度計画 対象年度:令和元年度)
公表方法:大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/evaluation.html)
中長期計画(名称:第三期中期計画 対象年度:平成29年度~令和4年度)
公表方法:大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/evaluation.html)

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/evaluation.html)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/accreditation.html)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 宮古短期大学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ(URL： https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/purpose.html)）
(概要) ○経営情報学科 経営・会計学及び情報科学を総合的に教育することにより、実社会に有用な知識と確かな専門技術、職業人としての自信と豊かな教養及び情報の取捨選択能力と活用能力を身につけさせるとともに、広い視野に立つ国際性や地域のリーダーとしての資質を培い、社会に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ(URL： https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/dc-policy-top.html)）
(概要) 宮古短期大学部では、本学の建学の理念、教育の特色、教育研究上の目的を踏まえ、 1 実社会に有用な知識と確かな専門技術を修得した人材 2 職業人としての自信と豊かな教養、情報の取捨選択能力と活用能力を身につけた人材 3 広い視野に立つ国際性や地域のリーダーとしての資質を培い、社会に貢献する有能な人材 の育成を図り、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し且つ単位を修得した学生を、次に掲げる「学生が卒業までに身につけるべき能力」を備えたものとして、学位「短期大学士（経営情報学）」を授与します。 学生が卒業までに身につけるべき能力 ＜専門科目＞ 【経営・会計分野】 1 職業人として企業の社会的役割を広い視野で理解して企業活動に参加できる。 2 企業の管理や会計の知識・技能を活用して企業活動に参加できる。 【情報科学分野】 1 コンピュータを活用し、企業活動における情報化に率先して参加できる。 2 コンピュータの仕組みをより専門的に学び、プログラムやシステムの開発に参加できる。 ＜教養科目＞ 1 グローバルな視野と地域に貢献する意欲をもって行動できる。 2 コミュニケーションツールとして英語を活用できる。 3 自分で考え、他者と協力しながら社会の中で主体的に行動できる。 ＜ゼミ科目＞ より高度な知識や技術を培い、専門性を深めることで、社会生活や企業活動に活用できる。 ＜キャリア科目＞ 培った知識や技能を活用するとともに、明確な目的意識をもって自身の進路を選択できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ（URL：<https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/dc-policy-top.html>））

（概要）

宮古短期大学部の教育目標を達成するため、以下のとおりカリキュラムを編成します。

<専門科目>

専門科目には、経営情報学科として専門性をより高く学修するために、経営・会計分野ならびに情報科学分野の科目が配当されています。

学修方法としては、基本的に両分野について学びつつ、さらには自身の専門性に応じてどちらかの分野に重点を置いて学ぶこともできます。

【経営・会計分野】

- 1 専門基礎科目では、経営学や会計学の基礎を学びます。
- 2 経営専門科目、会計専門科目、経営・会計関連科目では、企業の仕組みと社会的な役割、企業の管理や実践、簿記会計、さらに関連した広い知識について学びます。

【情報科学分野】

- 1 専門基礎科目（1年前期）をベースにして、将来の志望進路や学問的興味をもとに、経営情報関連、コンピュータ科学関連の各科目を選択し学んでいきます。
- 2 選択の方向として、コンピュータの利用方法から利用者サイドと開発者サイドの二つの履修方針を設定しています。二つの履修方針は適宜組み合わせ合わせて履修することが望まれます。

<教養科目>

多彩な教養科目を学修することによって豊かな教養を身につけるとともに、近年の社会あるいは企業内における英語の重要性から、科目や担当教員の配置を充実させ、英語教育重視のカリキュラム編成を行っています。

<ゼミ科目>

1年次～2年次を通じて履修するゼミ科目では、学修への取り組みから専門的な研究への取り組みまできめ細かな対応の教育を行います。さらには、キャリア教育を視野に入れたゼミ学習も行います。

<キャリア科目>

キャリア科目は、卒業単位にこそ組み込まれませんが、必修科目として、卒業後の進路選択にあたって、社会人として不可欠な基礎力の学修を行い、就業力を高めます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ（URL：<http://www-myk.iwate-pu.ac.jp/examination/index.html>））

（概要）

■求める学生像

宮古短期大学部では、本学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備える人を求めます。

- (1) 岩手県立大学宮古短期大学部の「建学の理念」と「大学の基本的方向」に共感する人
- (2) 総合的な基礎学力と学習意欲を有する人
- (3) 企業のあり方、会計の仕組み、情報技術の活用など専門領域への高い関心を有する人
- (4) 大学生活を送る上で必要な社会性を有する人
- (5) 多様な人々と協働しながら、知識・技能を活用して主体的に学び続ける意欲がある人
- (6) 自己成長と社会貢献を目指す人

■選抜の基本方針

入学者選抜においては、入学志願者の個性や資質、意欲等種々の潜在能力に配慮し多様な選考方法を採用するとともに、学力検査においては、暗記型の知識を問うのではなく、理解力表現力、思考力、論理性などを評価する試験を目指します。入学者選抜の各試験種別において重視する評価項目等は次のとおりです。

【一般入学試験・一般選抜A】

大学入試センター試験と小論文、調査書で構成されている試験です。大学入試センター試験では経営情報学科で学ぶにあたっての基礎的学力を、小論文では論理的思考力・

表現力・独創性等を、そして調査書では高等学校等での成績や学校生活・活動を、それぞれ評価します。

【一般入学試験・一般選抜B】

調査書と小論文、そして活動調書・志望理由書とそれに基づく面接で構成されている試験です。調査書では高等学校等での成績やさまざまな活動を、小論文では論理的思考力・表現力・独創性等を評価します。また面接では活動調書と志望理由書をもとに、経営情報学科で学ぶ上で特段に優れた能力・活動や学習意欲を評価します。

【推薦入学試験】

小論文と面接で構成され、各高等学校等から評定平均値を主とした一定の基準を満たして推薦された志願者を対象に行われる試験です。調査書・推薦書では、高等学校等での成績や学校生活・活動を評価します。面接では目的意識・学習意欲・自己表現力・人柄等を総合的に評価します。小論文では論理的思考力・表現力・独創性等を試します。

【震災特別推薦入学試験】

推薦入学試験と同一基準で評価します。

【社会人入学試験】

満21歳以上の高等学校等既卒者を対象に、書類審査、面接、小論文で行われる試験です。書類審査と面接では社会人としての経験に基づく目的意識や自己表現能力を評価し、小論文では論理的思考力・表現力・独創性等を試します。

【外国人留学生入学試験】

日本への外国人留学生を対象に、書類審査、面接、小論文で行われる試験です。書類審査では日本語の能力と学業成績について評価します。面接では、目的意識・学習意欲・自己表現力等を総合的に、小論文では論理的思考力・表現力・独創性等を試しますが、いずれも本学での学習・生活に必要な最低限度の日本語能力が前提となります。

「選抜方法と学力の3要素との対応」の表は上記 URL 参照。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページ

(URL：<https://www.iwate-pu.ac.jp/information/staff.html>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人			—			3人
宮古短期大学部	人	5人	5人	4人	0人	0人	14人
合計	3人	5人	5人	4人	0人	0人	17人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
3人		14人				17人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：大学ホームページ (URL： http://souran.iwate-pu.ac.jp/search?m=home&l=ja)					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
高等教育を取り巻く状況の全学的な情報共有及び授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な活動を目的として、年2回程度の全学的なセミナー及び学部ごとの研修会等の開催、他大学等が実施する研修会への参加に関する支援、授業に関する学生アンケート調査及び教員間相互授業聴講等を行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
宮古短期大学 部経営情報学 科	100人	104人	104.0%	200人	205人	102.5%	－人	－人
合計	100人	104人	104.0%	200人	205人	102.5%	－人	－人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
宮古短期大学 部経営情報学 科	100人 (100%)	31人 (31.0%)	60人 (60.0%)	9人 (9.0%)
合計	100人 (100%)	31人 (31.0%)	60人 (60.0%)	9人 (9.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/career/syusyokusaki.html) ※ 大学ホームページに掲載している進学者数等の数値は次のとおりであり、本申請書の数値とは一致しない。 ・進学者数は、専修学校・外国の学校等の入学者を含む。 ・その他の数は、就職未内定者を含まない。				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
宮古短期大学 部経営情報学 科	102人 (100%)	100人 (98.0%)	0人 (0.0%)	2人 (2.0%)	0人 (0.0%)
合計	102人 (100%)	100人 (98.0%)	0人 (0.0%)	2人 (2.0%)	0人 (0.0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバス作成要領を定めており、シラバス作成要領に基づき、開講される授業科目ごとに、授業担当教員がシラバスを作成している。シラバス作成要領とは、シラバスの構成、作成手順、作業内容及びスケジュール、シラバスの各項目の記載方法等を定めたものである。</p> <p>授業担当教員がシラバスを作成した後は、学部教務・学生委員会がシラバスの内容確認を行っている。</p> <p>シラバスは授業開講の前年度の1月から作成し、3月中旬頃に公開している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目ごとのシラバスに下記事項を記載している。シラバスに、学修目標、成績評価の方法を明記しており、これに基づき各授業科目の単位授与を行っている。</p> <p>①授業科目名 ②担当教員 ③所属 ④教育課程 ⑤開講年次 ⑥授業形態 ⑦単位数 ⑧必修・選択 ⑨資格対応 ⑩正課学生以外の受講 ⑪授業のねらい・概要 ⑫キーワード ⑬学修目標 ⑭授業の位置付け ⑮授業の計画 ⑯教科書 ⑰参考書等 ⑱授業の形式 ⑲成績評価の方法 ⑳授業前・授業後の学修 ㉑履修にあたっての留意点 ㉒備考</p> <p>試験・単位認定・成績評価に関するホームページアドレス (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/test.html)</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
宮古短期大学部	経営情報学科	64 単位	(有)・無	－単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：－		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/questionnaire.html) (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/living/jugyohyoka.html)		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページ (URL : https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/facilities.html)
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
宮古短期大学部	経営情報学科	390,000 円	県内の住民 135,400 円 その他の住民 203,000 円	0 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 経済的支援 経済的理由で授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀と認められる場合は、授業料の免除や納付方法の特例（分割・延納）を実施している。東日本大震災の被災学生に対しても入学料及び授業料の減免及び納付方法の特例を実施している。 また、本学独自の奨学金制度（岩手県立大学学業奨励金）を設け、学業成績が優秀な学生に対し無利子の奨学金を貸与している。卒業時に学業成績が特に優秀な場合や岩手県内で所定年数勤務した場合は返還免除としている。</p> <p>(2) 特別支援コーディネーターの配置 大学本部に配置されている特別支援コーディネーターが、障がい等のある学生への対応について支援を行っている。</p> <p>(3) 修学状況の保証人通知制度 学生出席状況調査等を行い、成績不振や欠席過多等のある学生との面談を定期的に行っている。学生の修学状況に応じて、必要がある場合には、保証人面談を実施している。 また、成績不振や欠席過多等について保証人に通知する制度を設けている。</p> <p>(4) ソーシャルワーカーによる相談窓口の設置 経済不安等の生活課題を抱える学生を対象にソーシャルワーカー（外部の専門家）による相談を実施している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 就職支援 就職・編入委員会を中心に、就職ガイダンス、企業説明会、保護者進路相談会、公務員試験対策講座、模擬面接等を実施している。また、就職支援の専門職員を配置し、学生の個別相談に対応している。</p> <p>(2) キャリア形成支援 低学年次からのキャリア意識の醸成を目的として、大学本部が主導するインターンシップのほか、本学独自のインターンシップを実施している。</p> <p>(3) 編入学支援 編入学試験対策のための勉強会を開催している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 健康管理（保健室） 学校医及び養護専門員を配置し、学生の心身の健康管理を行っている。</p> <p>(2) 学生相談 非常勤のカウンセラーを配置し、学生の悩みや心配ごとの個別相談に対応している。</p> <p>(3) 障がい学生支援 障がいや病気を抱える学生の支援を目的に、大学本部に配置されている特別支援コーディネーターが、障がい等のある学生への対応について支援を行っている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：大学ホームページ (URL：https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/index.html)</p>
--